

# “科学技術と社会との 界面の存在＝技術者” の倫理とは何なのか？

2019年 6月2日 (日) 14:00~17:00 (開場 13:30 )

講師：比屋根 均 さん（公益社団法人日本技術士会中部本部倫理委員会副委員長、教育促進小委員長）

1962年生まれ。1990年工学系大学院修士課程修了。鉄鋼メーカー、プラント系部門、QMS担当等を経て技術者倫理教育・研究者へ。現在は、一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター環境部参与。非常勤講師・教材執筆にもライフワークとして携わり続けている。

●会場：光塾 COMMON CONTACT 並木町

●参加費：1000円（学生 500円）

市民研会員は半額かつ同伴者割引あり／事前予約が必要です（定員40名）



技術者はそもそも表現することが生業ではないため、技術の営みややり方を語るのも難しく、「技術者倫理」をどう語り考え方理解させるかという問題は、今も私の基本的な課題です。

また、「技術者倫理」を教える時、「自分の非倫理的な何か」を棚上げした「倫理」は、格好は良くてもどこまで力を持つか疑問もある。だから私の「技術者倫理」研究は、社会と科学技術の界面で実践する者として、自己と技術の組織的営みへの反省の積み重ねでもあります。それは逆に私を作り上げたすべての教育・環境への批判的検討につながっているかもしれません。ここまで私が考えてきたことをお伝えし、また皆さんと議論できれば有意義な時間が持てるのではないかと思っています。

お申し込みは市民研ホームページ  
[www.shiminkagaku.org/](http://www.shiminkagaku.org/)  
の専用サイトで受け付けています

市民研 @ 光塾  
NPO法人 市民科学研究室  
COMMON  
CONTACT  
並木町

## ●光塾へのアクセス



JR 渋谷駅の新南口改札から徒歩 1 分。

渋谷駅からは外に出ず、

埼京線への乗り替え連絡通路で新南口に出ると便利。

渋谷区渋谷 3-27-15 光和ビル地下 1 階

tel. 03-6427-6462

## ●市民科学講座について

市民科学研究室が主催（あるいは共催）する市民科学講座は次の 4 つのコースがあります。

**A コース**……外部講師（主として自然科学系の研究者）を招いて、特定のテーマで行う学術的な講演会

**B コース**…… “科学と社会”をめぐって幅広いテーマをとりあげての、あるいはゲストの活動や言説に焦点をあてての、参加者と自由に語り合う講座

**C コース**……市民研の各研究会が担う、研究発表もしくは様々な形でのイベント

**D コース**……市民研事務所を使って軽食をとりながら、ゲストと少数の参加者との間で交わす気さくな談話の場

## ●市民科学研究室とは

市民科学研究室は（1）科学技術にかかわる様々な意思決定や政策形成への市民参加、（2）様々な社会問題の解決に向けた専門知の適正な活用、（3）"持続可能で生き生きとした生活"のための科学研究や教育の実践、に取り組んでいるNPOです。市民の問題認識力を高めるための講座や勉強会を運営し、市民が主体となった調査研究や政策提言や支援事業をすすめています。リビングサイエンス（=生活を基点にした科学技術）という概念を手がかりに、様々な角度から「生活者にとってよりよい科学技術とは」を考え、そのアイデアを実現していこうとしています。

## 市民科学研究室と関わっていただくための窓口

市民研は様々な活動を日々展開しています。市民研に関わっていただくための方法も様々です。以下のいずれについても詳しくはホームページでご案内していますが、お気軽に問い合わせいただければ、と思います。

- ▶ 会員になる: 年間 3000 円「ダーウィン会員」と年間 1 万円の「レイチェル会員」
- ▶ 寄付をする: オンラインからも「一口 1000 円」で受け付けています
- ▶ イベントに参加する: 市民科学講座が毎月 2 回ほど Web 会議システムでの参加も可
- ▶ 研究会に参加する: 会員であることが必要 Web 会議システムでの参加も可
- ▶ 作業を手伝って支援する: アルバイト（有償）となる作業もあります
- ▶ 記事論文読んでコメントを送る: ホームページの各記事のコメント欄から
- ▶ 出版物や動画を購入・視聴する: ホームページの「動画配信」「出版物・販売物」より
- ▶ 講演や出前講座を依頼する: 電磁波計測、子ども料理科学教室などもあります
- ▶ 会議室を借りる: 15 人までが座れる広めのスペース 1 時間 1000 円です
- ▶ 連携団体となり一緒に事業をすすめる: これまで様々な助成で実現してきました
- ▶ 科学技術に関して気になることを相談する: 常時メールで受け付けています
- ▶ 新たな研究や活動のテーマを提案する: 皆さんのアイデアを求めています！